

教員の公募（「多文化共生の社会」または「社会問題論」）について

1. 担当授業科目 (1) 学部開設科目「多文化共生の社会」または「社会問題論」（いずれも新規開講予定）
(2) その他、学部および大学院、全学共通科目の講義および演習
2. 職位・募集人員 准教授または講師 1名
3. 応募資格 (1) 現在、検討中の新規カリキュラムにおいて開設予定の上記科目を担当して頂くため、以下のいずれかのテーマの研究実績を持つ社会学や関連分野の研究者を募集しています。上記の科目名は面談の上、調整することがあります。
多文化共生・外国人労働者問題
貧困・格差、ジェンダー問題
市民参加・社会運動
(2) 大学院博士後期課程（博士課程）修了者（見込を含む）
または同等以上の学力を有する者。
(3) 採用時において39歳以下である者。
(年齢制限の設定は、長期勤続によるキャリア形成を図るため
(雇用対策法施行規則第1条の3第1項第3号イ))
4. 採用期日 令和9年4月1日
5. 応募締切 令和8年7月21日（火）17:00（日本標準時）
6. 提出書類
 - ・以下の提出書類をすべてPDFファイル化し、提出先メールアドレスにご送付ください（メールの件名は、「多文化共生の社会または社会問題論教員応募_氏名」とすること）。
 - ・著書等PDFファイル化することが難しい場合は、その旨をメールにてご連絡の上、封筒に「多文化共生の社会または社会問題論教員公募書類在中」と朱書きし、書留郵便でご送付ください（上記5. 応募締切必着）。なお、業績の返却を希望される場合は、宛名を記載し送料分の切手を貼った封筒等をご同封願います。
 - (1) 履歴書（香川大学経済学部HP【教員公募】の様式を使用のこと）
 - (2) 研究業績リスト（香川大学経済学部HP【教員公募】を参照のこと）
 - (3) 主要な研究業績5点以内（日本語もしくは英語のもの）
 - (イ) 著書
 - (ロ) 公表した論文
 - (ハ) 博士論文または修士論文
 - (二) その他の当該研究分野に関連した刊行物等
 - (4) (3) の要約（日本語で各1000字以内）
 - (5) 今後の研究計画（日本語で2000字以内）
 - (6) 本学での教育にあたっての抱負（日本語で2000字以内）
 - (7) 担当授業科目「多文化共生の社会」または「社会問題論」どちらかのシラバス（講義15回分）（香川大学経済学部HP【教員公募】の様式を使用のこと）

※提出書類をメールにて送付いただいた後、土・日・祝日を除く3日以内に受領した旨の返信がない場合は、お手数ですが、お問い合わせください。

※応募書類や業績は返却いたしませんのでご了承ください。但し、著書等の出版物について

てのみ、宛名を記載し送料分の切手を貼った封筒等を同封された場合は、返却いたします。

※提出頂いた個人情報は、本学の「個人情報の保護に関する規則」に従って、採用人事の選考以外の目的には使用いたしません。

7. 提出先 香川大学幸町地区統合事務センター事務課南（経済学部担当）

メールアドレス：jesoumu-c(at)kagawa-u.ac.jp

※(at)を@に変更して送信してください。

電 話 番 号：087-832-1807

著 書 等 郵 送 先：〒760-8523 香川県高松市幸町2番1号

8. 選考方法 第1次選考：書類審査

第2次選考：面接と模擬授業（第1次選考通過者対象）

※第2次選考のための旅費は自己負担となります。

9. 第2次選考期日 追って通知します。（9月中旬予定）

10. 選考結果の通知 決定次第、本人宛に通知します。

11. 備 考 ※本学における新規教員の給与は、年俸制を採用しています。

※香川大学は男女共同参画を積極的に推進しており、選考にあたって業績（教育業績、研究業績等）及び人物の評価等において同等と認められる場合は、本学部のジェンダーバランスに配慮して採用します。

※大学教員（常勤）経験が3年未満の場合は、採用後に本学「新任教員研修プログラム（2年間で40時間以上）」の受講対象となります。なお、大学教員経験が3年以上であっても、プログラム対象者となる場合があります。